

no.

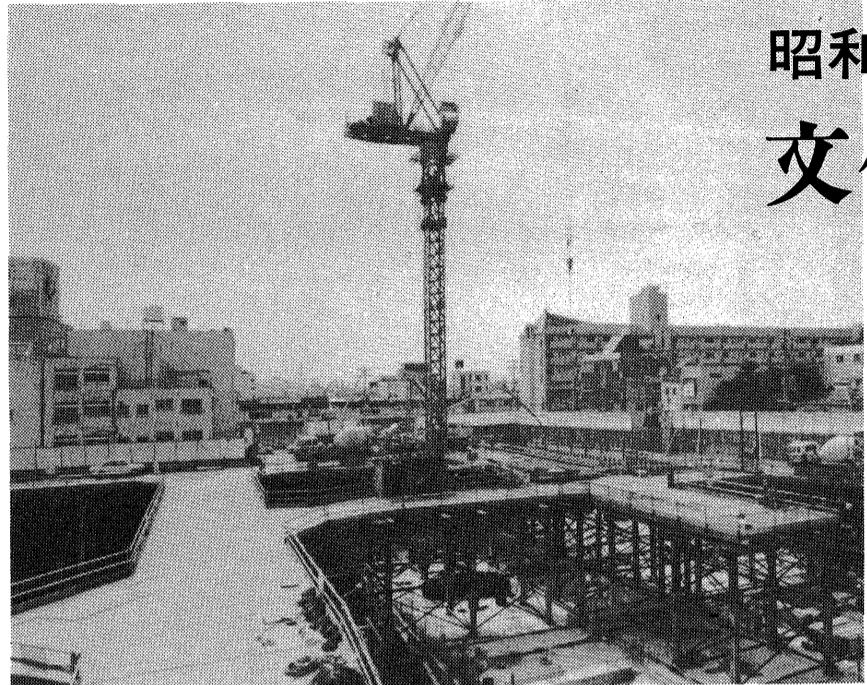
広報

473

昭和60年

4月1日

あしや



着々と進む国鉄芦屋駅北地区再開発事業

昭和60年度施政方針

文化の香り高い
健康都市を目指して

去る三月五日から開催された、昭和六十年第一回定期市議会で、市と教育委員会は、新年度の施政方針を明らかにしました。昨年に引き続き、「総合的な健康都市づくり」を基本として、①人間尊重の人づくりと教育文化の向上、②健康と暮らしを高める市民生活の充実、③生活環境と都市機能の整備、④財政の健全化と行政の効率化を柱とし、国際文化住宅都市「芦屋」の一層の発展に取り組みます。

住みよい「芦屋」へ
積極的なまちづくり

本市は、「国際文化住宅都市」建設の理念のもとに、恵まれた自然の美と、すぐれた都市機能を備えた調和のあるまちづくりを進めました。

今日の多様化した社会の中で、緑豊かな住宅都市を維持していくために、市民のかたがたの理解と協力を求めつつ、社会情勢を十分認識しながら、住みよいまち「芦屋」の建設に取り組みます。

昨今の社会情勢は多難を極め、特に、低成長経済によって、財政は深刻な状況にあり、国、地方は行財政改革を進めています。本市も、あらゆる分野に文化性をもつた施策が望まれています。一昨年から、文化行政懇談会を設置し、心にゆとりとやすらぎのあるまちづくりについて、各界のかたがたのご意見を求めてきました。本年は、この提言を受けて、各方面の行政に反映していくります。

近年は、物質的な豊かさだけでなく、心の豊かさが求められています。本市の行政にも、あらゆる分野に文化ゾーンと位置づけ、その構想の具体化に順次取り組みます。

私たちの日常生活に、健康が最も大切なことはいうまでもありません。「人生八十年時代」の到来に伴い、成人病予防の観点から、自分の健康は自らの手で守るという自覚を高め、運動、栄養、休養のバランスのとれた生活管理

さらに、本年は将来の行政目標を定める新総合計画の策定の年にあたります。現総合計画の基本理念を堅持しつつ、将来とも秩序あります。現総合計画の基本理念を堅持しつつ、将来とも秩序ある発展と、市民の健康と幸せを守ります。

社会教育では、本年度は生涯教育の体系化を図るために、小・中学校、中学校・高校についても教科指導、生徒指導の充実や、相互連携の機会を多くします。

また、幼稚園・保育所と小学校との連携、小・中学校・中学校・高校についても教科指導、生徒指導の充実や、相互連携の機会を多くします。

社会教育では、本年度は生涯教育の体系化を図るために、小・中学校、中学校・高校についても教科指導、生徒指導の充実や、相互連携の機会を多くします。

また、本年は国際青年年にあります。青年セミナーなどを開設して、青年の主体的な社会参加の促進を図ります。

春の全国交通安全運動



新入学(園)の児童が不慣れな通学・通園をしています。

運転者も、歩行者も、子供を交通事故から守りましょう。

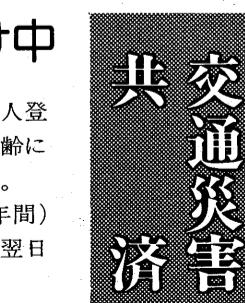
市生活文化課 (☎3121内線232)

芦屋市の人口と面積

昭和60年3月1日推計人口

人口総数	87,382	世帯数	30,858
男	41,491		
女	45,891		面積 17.31km ²

発行 芦屋市役所 (公聴広報課) ☎31-2121
芦屋市精道町7番6号 毎月1回1日発行



現在受け付け中

本市に住民登録、外人登録をしている人は、年齢に関係なく加入できます。

▶会費…1人360円(年間)

▶有効期間…申込日の翌日から61年3月31日

▶申し込み…市内の各銀行

信用金庫・郵便局・市役所で受け付けています。申込書は上記各機関にあります(市外の取扱金融機関でも受け付けします)

▶見舞金…1万5,000円から100万円まで

▶問い合わせ…市生活文化課 (☎3121内線232)

4月1日から

芦屋
病院

整形外科を開設

外来診察は4月8日から

整形外科の開設により、既にあるリハビリテーション科との有機的な診療体制が整いました。

四月一日から既にある専門外来に加え、新たに、内科に循環器の疾患および肝臓・肝のう・脾臓の

復の訓練治療との有機的な診療体制が整いました。整形外科の開設に伴い、既に回復の訓練治療との有機的な診療体制が整いました。

二つの専門

病気の種類		診察日
内 科	循環器の疾患	月曜日
	糖尿病・痛風の疾患	火曜日
	肝臓・胆のう・脾臓の疾患	水曜日
	胃・腸の疾患	木曜日
形成外科	こうしんれつ 口唇裂・口蓋裂 こうかいれつ 外傷察と かんこん の癒痕手術	木曜日

教育委員会のお知らせ

私立幼稚園児への就園
奨励補助制度の改正

従来、市内在住の私立幼稚園児（四歳～五歳児）に対して、私立幼稚園就園奨励補助金と私立幼稚園奨励費補助金の二つの制度がありましたが、このほど一本化し、補助額を整理しました。適用は、昭和六十年四月からで、支給申請

の受け付けは九月に行います。
【補助区分の内容】（いずれも世帯合算）

就学奨励制度

①生活保護世帯・市民税非課税世帯／年額十万四千円以内／、②市民税所得割の非課税世帯／年額八万千円以内／、③市民税所得割課税額が九万四千円以内／、④世帯の所得額が五百万円以下の世帯／月額二千円／、⑤世帯の所得が八百万円を超える世帯／給付しない／、⑥世帯で五十九年度中

千五百円／、⑦世帯の所得が八百万円以下の世帯／月額二千円／、⑧世帯の所得が八百万円を超える世帯／給付しない／

なお、⑥の世帯で五十九年度中に月額二千円の給付を受けていた五歳児の園児がいる家庭には、卒園まで同額を給付します。

道路改良事業の期間を延長します

昭和五十三年五月から、駅前広場西線（国鉄芦屋駅南口から市民センター西側までの区間）の道路改良事業を実行していますが、このたび事業の施行期間を六十三年三月三十一日まで延長することになりました。これに伴い、事業計画変更認可の図書の写しを、市都

市計画課で縦覧しています。

問い合わせは、市都市計画課街路担当（☎ 2121内線439）へ。

固定資産課税台帳の総覧

- 期間…4月3日(水)～4月22日(月)
(日曜日は除く)
- 時間…午前9時～午後5時
(土曜日は正午まで)
- 場所…市役所1階市民ホール
- 問い合わせ…市税務課固定資産課係
(☎ 2121内線271)

医事係（☎ 2156）へ。
受付時間は、いずれも午前8時30分から午後11時30分までとなります。

問い合わせは、芦屋病院業務課
医事係（☎ 2156）へ。
受付時間は、いずれも午前8時30分から午後11時30分までとなります。

取水制限解除

節水にご協力ありまし

三月十一日には、四四パーセントに戻りました。
この渇水を教訓に「水の大切さ」を新たに痛感するとともに、今後とも水道事業の発展と整備に、より一層の努力をしますのでご協力をお願いします。

詳しくは、市水道部拡張担当課救急係（☎ 2121内線482）へ。

納期変更のお知らせ

昭和60年度に限り、第1期の納期を次の期日に変更します。
5月17日～5月31日

軽自動車税

昭和60年度から、納期は次の期になります。
5月1日～5月31日

問い合わせは、市税務課（☎ 2121内線501）へ。

生きる——そのいとおしさ

の人の意識そのものです。何

ましたが、実は、もう一組の奥さんは後妻だったのです。

心優しい人たちが愛し合って結ばれた結果が、たまたま後妻だったというだけで、なぜ

「うちのお母ちゃん、掃除でメシ食つとるんや。お父ちゃんが死んでから、家族四人

が生活できるのは、お母ち

さんが掃除の仕事しとるから

と注意したところ、別の男

子が「ちょっとと待つてくれ

と立ち上がり、こういったそ

うです。

「うちのお母ちゃん、掃除

が死んでから、家族四人

が生活できるのは、お母ち

さんが掃除の仕事しとるから

と注意したところ、別の男

子が「ちょっとと待つてくれ

と立ち上がり、こういったそ

うです。

阪神間の、ある中学校での話です。一年生の教室で、先生が一人の生徒に

「いうこと聞けんのなら罰として掃除させるゾ」

と注意したところ、別の男

子が「ちょっとと待つてくれ

と立ち上がり、こういったそ

うです。

「うちのお母ちゃん、掃除

が死んでから、家族四人

が生活できるのは、お母ち

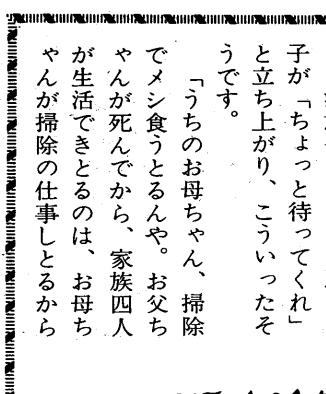
さんが掃除の仕事しとるから

と注意したところ、別の男

子が「ちょっとと待つてくれ

と立ち上がり、こういったそ

うです。



の人の意識そのものです。何

ましたが、実は、もう一組の奥さんは後妻だったのです。

心優しい人たちが愛し合って結ばれた結果が、たまたま後妻だったというだけで、なぜ

このカレンダーは、過去20年間の市消防本部の資料から、比較的よく現れた天気をパーセントで示したものでした。

問い合わせは、市消防本部警防課（☎ 2345）へ。

勝手口からのコミュニケーション

東山町子ども会資源ごみ回収の報告

東山町子ども会は、五十七年から市が推進している資源ごみ再利用の呼びかけに応じて「古新聞、古本・ダンボール、古布、アルミ缶」等の回収作業に組織的に取り組んでいます。毎月回、当番制でお母さんたちが回収車に乗り込み、マイクで呼びかけながら東山町全域を廻っています。地域の皆さんの協力や、「くろうさん」の声に励まされながら、この地道な活動が各家庭の勝手口をとおしての地域コミュニケーションづくりに連なれば、とがんばっています。

現在、資源ごみ回収による収益は、子ども会活動の重要な財源になつております。

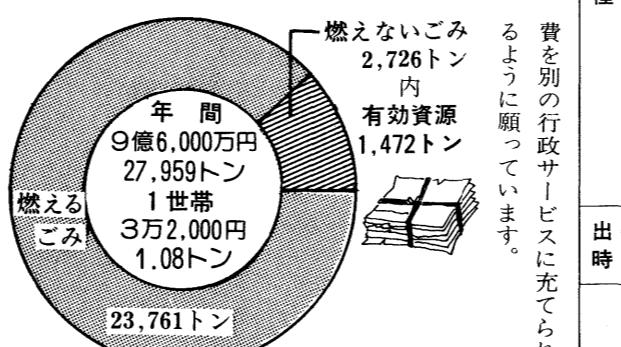
清潔で住み心地よいまち

資源の節約はあなたの気くばりで



大型ごみ

収集回数を増やします



年間 9億6,000万円
内 27,959トン
1世帯 3万2,000円
1.08トン

燃えるごみ

燃えないごみ

大型ごみ

その他



早々とお役ごめんになった家具の山

これまで、大型ごみは四ヶ月に一回のサイクルで収集してきました。従来からのご意見として、ごみの量は、その後やや横ばいの状況を示しています。収集、処理に要する経費は、車両の購入、工場の維持費などを含めて下図のとおりです。

燃えるもの燃えないものの手作業による分別、水切りが不十分な大型ごみの収集回数を増やすための焼却効率の低下、プラスチック類や燃えないゴミの混入による二ヶ月に一回のサイクルで収集

五十八年度のごみの量は下図のとおりです。五十五年に開始した資源ごみ回収によつて、ごみの量は、その後やや横ばいの状況を示しています。収集、処理に要する経費は、車両の購入、工場の維持費などを含めて下図のとおりです。

燃えるもの燃えないものの手作業による分別、水切りが不十分な大型ごみの収集回数を増やすための焼却効率の低下、プラスチック類や燃えないゴミの混入による二ヶ月に一回のサイクルで収集

これまで、大型ごみは四ヶ月に一回のサイクルで収集してきました。従来からのご意見として、ごみの量は、その後やや横ばいの状況を示しています。収集、処理に要する経費は、車両の購入、工場の維持費などを含めて下図のとおりです。

燃えるもの燃えないものの手作業による分別、水切りが不十分な大型ごみの収集回数を増やすための焼却効率の低下、プラスチック類や燃えないゴミの混入による二ヶ月に一回のサイクルで収集

これまで、大型ごみは四ヶ月に一回のサイクルで収集してきました。従来からのご意見として、ごみの量は、その後やや横ばいの状況を示しています。収集、処理に要する経費は、車両の購入、工場の維持費などを含めて下図のとおりです。

燃えるもの燃えないものの手作業による分別、水切りが不十分な大型ごみの収集回数を増やすための焼却効率の低下、プラスチック類や燃えないゴミの混入による二ヶ月に一回のサイクルで収集

これまで、大型ごみは四ヶ月に一回のサイクルで収集してきました。従来からのご意見として、ごみの量は、その後やや横ばいの状況を示しています。収集、処理に要する経費は、車両の購入、工場の維持費などを含めて下図のとおりです。

燃えるもの燃えないものの手作業による分別、水切りが不十分な大型ごみの収集回数を増やすための焼却効率の低下、プラスチック類や燃えないゴミの混入による二ヶ月に一回のサイクルで収集

「消費は美德」という言葉が生まることで商品がほんらんし、使い捨てることが当たり前という風潮になりました。最近では、この反省から物の大切さを考えるようになつて、消費生活のあり方が考え直されていましたが、子供たちにとって一度うつけられた価値観は、簡単に変えることはできないでしょう。ごみの量は、物の大切さを知るバローメーターと言えます。

昭和60年度予算では、一般合計四五五億二千万円のうち、ごみ処理に要する経費は十億三千五百万円です。今月号では、ごみをめぐる問題を紹介して、ご理解とご協力をお願いしたいと考えています。

身の周りにごみが散乱していると、不潔で、とても不快です。

早く目の前から消して気持ちよく過ごそう、これはだれもが思うことです。しかし、目の前から消えたごみは、いったいどのような経過をたどるのでしょうか。

まず、ごみの処理に関する法規は、廃棄物(ごみ、汚いふん尿、動物の死体など)を適正に処理し、生活環境を清潔に保ち、公衆衛生を向上させる目的としています。市は廃棄物処理を、廃棄物は、決められた処理方法に沿って出していくだけのように協力を要しています。

計画をもつて、生活環境を損なわなければなりません。

いままで市民の皆さんには、処分可能な廃棄物はできるだけ処分していただき、個人では処理できない廃棄物は、決められた処理方法に沿って出していくだけのように協力を要しています。

環境計画には市民のご協力を

ごみの分別と出し方のルール

ごみの種類	燃えるごみ	燃えないごみ	大型ごみ	その他
台所ごみ・紙類・木くずなど	プラスチック類(ソース・しょう油・シャンプー・洗剤・化粧品など)缶詰の缶・せともの類・乾電池・なべ・かま類・電球など	冷蔵庫・洗たく機・扇風機・テレビ・大型照明器具・炊飯器(1.8リットル以上)・タンス・本棚・食器棚・じゅうたん・寝具類・自転車・三輪車・大型ぬいぐるみ・石油缶(1.8リットルなど)	引っ越しごみ・庭木の葉刈りなど	
出す時間	午前8時30分までに(前後から出さないこと)	午後0時30分までに(前後から出さないこと)	午前8時30分までに(前後から出さないこと)	
出すときのルール	・水切りを十分にする ・ビニール袋に入れる ・口を固くしばる ・使用後の油は、新聞紙などにじませて、 ビニール袋に入れる ・スプレー缶類は底に穴を開けておく ・ソースや缶詰容器は中身が残っている場合は水洗いをしてから出す ・木製家具は、できるだけ壊してしまる ・ダブルベッドなど超大型家具は、できるだけ分解する ・燃えないと想定されるものは混ぜない ・原動機付自転車以上 の車両は収集できない ・灰はためておくときに火氣をなくすること ・ボタン電池は捨てないで、小売店へかえすこと	・ソースや缶詰容器は中身が残っている場合は水洗いをしてから出す ・木製家具は、できるだけ壊してしまる ・ダブルベッドなど超大型家具は、できるだけ分解する ・燃えないと想定されるものは混ぜない ・原動機付自転車以上 の車両は収集できない ・灰はためておくときに火氣をなくすること ・ボタン電池は捨てないで、小売店へかえすこと	・木製家具は、できるだけ壊してしまる ・ダブルベッドなど超大型家具は、できるだけ分解する ・燃えないと想定されるものは混ぜない ・原動機付自転車以上 の車両は収集できない ・灰はためておくときに火氣をなくすること ・ボタン電池は捨てないで、小売店へかえすこと	・別途に有料での収集になります。日時に余裕をもって申し込むこと ・工事用残がいは、施工業者に処分をまかせること

交通弱者行動特性を理解して

あなたは、「交通弱者」といって言葉をご存じですか?

この言葉は、交通社会では今まで済むように、出し方に細かい配慮をお願いしたいのです。

アシケートでは、収集後のステーションにて、大型ごみ二回に一回です。この内、引っ越しごみや大そじによる一度に大量に出

るごみ、庭木の葉刈りは臨時ごみとして有料で収集しています。

アシケートでは、収集後のステーションにて、大型ごみ二回に一回です。この内、引っ越しごみや大そじによる一度に大量に出るごみ、庭木の葉刈りは臨時ごみとして有料で収集しています。

昭和60年4月1日

広報あしや

4月10日から受付

- 受け付け開始…4月10日(水)午前9時30分～(定員になりしだい締め切ります)。なお、定員に余裕がある場合に限り、17日(水)から市外のかたを受け付けします。
- 受付会場…市民センター事務室(ただし、10日午前中のみ市民センター3階301室で受け付けます)
- 申し込み方法…来館またははがき(希望講座名・住所・氏名・年齢・性別・電話番号を明記してください)で。はがきでの申し込み受け付けは、市内が11日、市外は18日からです。
- 受講料…受講料は全回通しの金額です。お支払い済みの受講料はお返しできません。

講師の都合により、日時・テーマの変更があるときはご了承ください。

託児 講座受講者の学習を援助するため、次のとおり託児を無料で行います。

- 対象児…昭和57年10月以前に生まれた幼児(2歳半～)
- 申し込み方法…必ず子供同伴のうえ、ご来館ください。
- 対象講座…同和教育講座・幼児教育講座・共働きのための料理教室・時事講座・ボランティア実技講座・健康講座・国際理解講座の7講座

問い合わせ…市民センター教育事業係
(業平町8-24 ☎ 4995)

“科学の年”といわれる今年。ますます情報社会化していく現代社会。私たちは、情報洪水の中でややもすると、さまざまな情報をたいへん機械的に処理してしまいかであります。それらの情報の中には、二十一世紀に生きる人間として、いま立ちどまり考えておかねばならない情報もまた多くあるのではないか。文化的にも実り豊かな社会を、次代に生きる子供たちや自分自身のために伝え残していくために、公民館講座で学習してみませんか。

公民館ではこの春、左表の十二講座を開催します。

“科学の年”にちなみ、未来学講座や自然科学講座を。女性の就労人口がいよいよ増加する社会への対応として、共働きのための料理教室。親と子の関わりを中心に家庭や家族のあり方を考える幼児

講 座 名	講 師 (敬称略)	期 間・会 場	曜 日・時 間	講 義 内 容・カリキュラム	定員・受講料
* 同和教育講座 * 差別のない社会をめざして	天理大学講師士 幸子 藤野 伸明 関西学院大学助教授 領家 穂明 部落解放研究所所員	遠藤 上野 寺本 加藤	5/15~6/19 全5回 <301室ほか>	▶暮らしのなかで人権を考える ▶生きている差別・結婚差別 ▶部落の歴史を正しく知ろう ▶わたしたちの差別意識を考える ▶わたしたちの課題一人権をどう守っていくか	60人 (託児あり) 無料
* レクリエーション実技講座 * リコーダー入門	大阪音楽大学付属音楽学園講師「あんさんぶるびふえる」代表 水島 寿子	4/25~7/18 全8回 <音楽室>	木曜日中心 9:30~11:30	▶楽器紹介とリコーダーの歴史 ▶演奏曲練習 ▶合奏発表会・鑑賞会 ▶練習曲発表(合唱合奏) ▶講座をふり返って	50人 500円 (4,000円)
* 幼児教育学級 * 子どもは遊びの専門家	京都大学助教授 園田女子短大講師 家庭料理研究家 甲南女子大学講師 神戸大学講師 佐藤 佐藤 道山 中田	藤本浩之輔 一色 八郎 広子 大月 ルリ子 真子 孝美 壱子 節子	4/27~6/28 全10回 <講義室>	▶子ども遊び ▶わが子をこんな子に育てたい ▶おはなしとおもちゃ ▶正しいおやつとの考え方 ▶童話・お話を読み方聞かせ方 ▶上手なテレビの見せ方 ▶のびのび絵のかかせ方 ▶豊かな音感の育て方 ▶映画と話し合いーこんな遊びをさせています(お父さんもごいっしょに!) ▶自然に親しむ遊びー子どもは遊びが仕事です	50人 (託児あり) 1,000円
* 共働きのための料理教室 * スピード料理と応用	家庭料理研究家 坂本 廣子	5/12~10/13 全5回 <料理室>	毎月第2日曜日 (8月除く) 13:00~16:00	共働きの「主夫」と「主婦」のための料理実習 ▶煮る ▶焼く ▶炒める ▶蒸す ▶揚げる(主夫のみの参加も歓迎)	25人 (託児あり) 500円 (4,200円)
* 時事講座 * 国際社会の中の日本	朝日新聞論説委員 北畠 清泰 神戸大学助教授 依田 博	5/20~9/9 全5回 <講義室>	毎月第3日曜日 中心 14:00~16:00	日々のニュースの中から、現代の日本の政治的また経済的状況を理解する事象をとりあげ、分析・解説します	50人 (託児あり) 500円
* 民俗学講座 * 祭りとくらし	県立歴史博物館長 和田 邦平 田辺 久義	5/1~5/22 全6回 <講義室ほか>	水・土曜日中心 14:00~16:00	▶年中行事のおこり ▶保久良神社のだんじり祭り見学 ▶祭りとは… ▶さまざまな祭り ▶芦屋の祭り今昔 ▶祭りと私たちの生活	60人 500円
* ボランティア実技講座 * 要約筆記を始めませんか	県障協事務局長 松野 勇 京都市立大学教授 松岳勝村 道子	5/9~7/11 全8回 <205室>	木曜日中心 13:30~15:40	▶要約筆記とは何か? ▶聞こえのしくみ ▶難聴者の体験と訴えから ▶日本語の特性 ▶聴覚障害者と福祉ボランティア活動について(実技中心)	30人 (託児あり) 無料
* 健康講座 * 暮らしの中の医学	大阪大学教授 中川 米造 氷谷片山 大海 宮田 雄祐	5/10~6/21 全6回 <講義室>	金・土曜日中心 14:00~16:00	▶医学はどのくらい病気を治せるか ▶暮らしの中の科学物質ーその効用と害 ▶豊かさと食べること ▶めい想の効用 ▶健保制度とクスリー薬に害はないのか ▶医学とのつきあい方ー健康への自立	60人 (託児あり) 500円
* 國際理解講座 * 東南アジア—世界史の焦点	日経新聞外報部次長 田村 哲夫 南田みどり 松尾 依田 恒二	5/18~6/22 全6回 <401室>	毎週土曜日 14:00~16:00	▶アジアはかける ▶アジアの文学を読む ▶近代化と伝統社会 ▶東南アジアの自然と農林業 ▶結束を強めるアセアン ▶経済協力を考える	120人 (託児あり) 500円
* 未来学講座 * 人間と科学と技術の共存	京都大学教授 坂井 利三郎 大阪大学教授 朝日 一郎 芦屋電報電話局次長 芦屋電報電話局次長 大阪大学教授 山中千代衛 大阪歯科大学教授 川原 春幸	5/8~6/26 全6回 <講義室>	水曜日中心 18:30~20:30	▶科学と技術ー科学と技術はどこまで進歩したか ▶ロボットー人間は征服されないか ▶ニューメディアー情報洪水にならないか ▶エネルギーー新しいエネルギーーは出現するか ▶バイオテクノロジーー生命は変えられるか ▶人間と科学・技術ー人間の幸福とは	60人 500円
* 自然科学講座 * ハレーすい星がやってくる	大阪市立電気科学館「星の友の会」評議員 半田 孝	5/18~7/6 全5回 <講義室>	土曜日中心 18:30~20:30	▶古代人の宇宙観とすい星 ▶星空の訪問者すい星の正体 ▶76年目の出あいハレーすい星はいま… ▶「人体観測」目で見る地球の家族 ▶すい星と宇宙の起源すい星研究は何に役立つか	60人 500円
* グループ委託講座 * 点訳初級講座	点字友の会会員	5/2~9/26 全17回 <217室ほか>	毎週木曜日 9:30~11:30	▶点字の歴史と構成 ▶50音について ▶書き方実習 ▶点字図書館見学など	10人 無料 (教材費実費)

春の公民館講座

教育学級。事故や病気などで途中から聞こえなくなったり、難聴となつた人へのボランティア養成の要約筆記入門講座。さらに、国際化されていく社会を理解する手だてとしての時事講座・国際理解講座。よりよく人权がまられていくための鍵として同和教育講座。現代医療制度の中で自らの健康を考える健康講座。祭りの歴史の中から現代のコミュニケーションのあり方を探る民俗学講座ほかがあります。

合同開講式と記念講演

日時：4月22日（月）午後一時三十分～四時二十分
会場：市民センター1401室（託児213室・無料）
定員：二百人（講座受講申込者ほか）
講師：藤木高嶺（朝日新聞編集委員）
記念講演：テマヤ「冒險と探検のころ」
参加費：無料

日時：4月22日（月）午後一時三十分～四時二十分
会場：市民センター1

